



平成 27 年 12 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社多摩川ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 榊沢 徹
 (JASDAQ・コード6838)
 問合せ先 経営企画部兼財務経理部 後田 晃宏
 電話番号 03-6435-6933

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 5 月 13 日に公表した連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	5,600 ～7,300	590 ～850	520 ～790	400 ～570	円 銭 10.00 ～14.00
今回修正 (B)	5,410	159	105	106	2.58
増減額 (B - A)	△189 ～△1,889	△430 ～△690	△414 ～△684	△293 ～△463	—
増 減 率	△3.4% ～△25.9%	△72.9% ～△81.2%	△79.6% ～△86.6%	△73.3% ～△81.2%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	5,094	531	514	427	10.38

修正理由

電子・通信機器用事業において、通信事業者による携帯電話インフラ市場の急激な設備投資の抑制が発生していること、及び官公庁向け大型案件が端境期にあることによる影響を受け、上半期の売上高が当初予想より減少となり、同事業における損益分岐点を下回ったことから、当連結会計年度の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益は当初予想を下回る見通しとなりました。また当連結会計年度の業績予想については、再エネシステム販売事業において外部要因により事業環境が変化し売上・損益が変動することが想定されていたため、レンジ形式での業績予想の開示を行っておりました。

本日付「当社グループで計画している地熱発電所事業の現状に関するお知らせ」にて公表させていただいている通り、上限値については、現在建設中の地熱発電所 2 基について地熱発電所の建設完了後において地熱発電による売電と地熱発電所自体の売却を見込んだものであり、かつ、現在は着工していない 2 基の地熱発電所の追加売却を見込んだものでありました。しかしながら、現在建設中の 2 基については現時点で第三者に売却し、かつ、2 区画についても土地の売り戻しを行い、地熱発電所の売却を取り止めました。それに伴い前述の電子・通信機器用事業における売上減少の影響とあわせて、上限のみならず下限の業

績予想数値からも減少する見込みとなっております。

また、前期実績と比して予想売上高金額の計上額に比べ予想利益金額が少額な理由は、前述の電子・通信用機器事業において利益率の高い売上高が減少したことによる影響でございます。

なお、当期純利益については、今後予定されている税制改正の内容や、税効果会計に関する見積りの影響等の外部要因により変動する可能性がございますので、重要な影響を与える新たな事象が発生しましたら速やかに公表させていただきます。

このような状況下で、電子・通信機器用事業において受注高・売上高を挽回するため、防衛関連市場、公共・防災関連市場を中心とした販売拡大活動に加え、新規顧客の開拓に注力しており、新規の大型案件を獲得するなど、受注高は改善傾向にあります。納入時期が平成28年4月以降の案件が多いため、売上高、及び利益への貢献は来期以降となる見通しでございます。

当社といたしましては、中長期に向けて企業価値の拡大並びに利益の最大化に努めるべく引き続き尽力してまいります。

(注)上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上